

ロンドン、2016年2月17日

Primetals Technologies、ブラジル・Gerdau（ゲルダウ）社向けステッセルミルを引き渡し

- 引き渡したステッセルミル^{※1}の熱延コイル生産能力は年間80万トン
- ブラジルにおける大規模な鋼板生産用設備投資の一環
- 機械・電気・オートメーション設備一式を納入

Primetals Technologies は、ブラジルの鉄鋼メーカーGerdau（ゲルダウ）社オウロブランコ製鉄所（ミナスジェライス州）にステッセルミルを納入し、このたび最終検収書（FAC）を受領しました。大型プロジェクトの一環として2010年に当社が機械・電気・オートメーション設備一式を受注した本ステッセルミルの生産能力は、熱延コイルとして年産80万トンです。

同社は、南北アメリカを代表する条鋼メーカーで、特殊鋼では世界的なメーカーです。現在、南北アメリカ、ヨーロッパ、アジアを含め14か国に生産拠点を有して生産能力は合計2500万トンに及ぶ一方で、南米最大のリサイクル量を誇り、世界全体で年間数百万トンのスクラップを再利用しています。

このステッセルミルは、ブラジルでの鋼板生産体制確立を目指したオウロブランコ製鉄所への設備投資計画の一環。同社は、厚板圧延機と2ストランド（条）方式スラブ連続鋳造機も併せて当社に発注しています。生産される最終製品としては、API（アメリカ石油協会）級の油送管用高規格鋼板に加えて、造船用、建設用、圧力容器用の厚板製品等が含まれます。

当社は、コイルファーネス、ステッセルミルスタンド、クランプシャー、ラミナーフロー冷却ゾーン、ダウンコイラー及びコイル搬送設備等のステッセルミル機械設備一式に加えて、電気およびオートメーション設備一式を納入。本圧延ラインは、幅900～2,100ミリ、厚さ2～20ミリの鋼板を製造可能で、ステッセルミルと厚板圧延機の主動力源として、駆動用コンバーター（Sinamics SM150）で作動する非突極同期モーターを装備。また当社は、計測機器、測定システム、オートメーション設備、制御システム

及びプロセスモデル、高電圧・中電圧・低電圧用開閉器を含む電源装置、2基の圧延ライン用の流体系
統機器、水処理設備を納入し、設備の据え付けおよび試運転の指導を実施しました。



ブラジル・ゲルダウ社オウロブランコ製鉄所（ミナスジェライス州）
に納入したステッケルミル

※¹ ステッケルミル：圧延機の前後に加熱炉内でストリップの巻取り・巻戻しを行うコイラファーネスを
設置し、高温のストリップを保温しながら往復圧延するもの。4段ステッケルミル
は、上下に4本の圧延用ロールを組み合わせて圧延する。

原文プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。

www.primetals.com/press/

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications and Marketing
Head: Heiko Huensch

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

報道関係お問い合わせ先:

Primetals Technologies Japan 株式会社 総務部

〒108-0014 東京都港区芝五丁目 34 番 6 号 新田町ビル 9 階

TEL(03) 5765-5231

Primetals Technologies 公式ツイッター: twitter.com/primetals

Primetals Technologies, Limited は本社を英国、ロンドンに置き、金属鉄鋼産業にとって、エンジニアリングやプラント建設全般の、世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供します。鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野部門にも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工グループで、株式会社日立製作所、並びに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足しました。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。発足時の従業員数は全世界で約 9,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: www.primetals.com